

内蔵LTO3 ユニット (PG-LT302、PGBLT302、PGBLT302C、PGBLT302C1)

(1) 概要

LTO(Linear Tape Open) Ultrium3 フォーマットを採用したハーフハイトの内蔵型テープ装置です。

(2) 特長

- ・ Ultrium3 (LTO3) データカートリッジをご使用の場合は、データテープ 1 巻当たり非圧縮データ 400GB (圧縮率 2 倍のデータのときは約 800GB) の大容量のバックアップおよび最大 64MB/s (非圧縮時) の高速転送が可能です。
- ・ 省スペースなハーフハイトのドライブです。
- ・ カートリッジ内にメモリ (LTO-CM) を内蔵しており、カートリッジ内データへの高速アクセスを実現しています。

(3) 仕様

項目	仕様	備考
製品名称	内蔵 LTO3 ユニット	
型名	PG-LT302, PGBLT302 PGBLT302C (*1), PGBLT302C1 (*1)	<ul style="list-style-type: none"> ・PGBLT302Cは、TX200 S3, TX300 S4, TX300S5専用型名 ・PGBLT302C1は、TX200 S5専用型名
インターフェース	Ultra160 SCSI	LVD
データ記録方式	固定ヘッド、リニア記録方式	
データ記憶容量(*2)	非圧縮時 400GB/巻 圧縮時 約800GB/巻 (圧縮率2倍のとき) (Ultrium3 データカートリッジ使用時)	
データ転送速度(*3)	最大 64MB/s (非圧縮時) (Ultrium3データカートリッジ使用時)	
データ記録形式	LTO Ultrium-3 (Read/Write) LTO Ultrium-2 (Read/Write) LTO Ultrium-1 (Read only)	
エラーレート	訂正不能エラーは1×10 ¹⁷ の17乗bitのリードに1回以下	
外形寸法[mm]	幅 149.6× 高さ 42.9 × 奥行き 223.6 5インチ内蔵オプションベイを1スロット使用	ベゼル、コネクタ部を含む (突起は除く)
質量	1.68 kg	
消費電力	最大 36 W	
発熱量	最大 126 kJ/h	
添付品	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書、安心バックアップ、運用チェックシート ・保証書 (*5) ・クリーニングカートリッジU ・電源延長ケーブル(DC-DC、5cm、TX200 S3、RX600 S3(SASモデル)内蔵用) (*4) (*6) ・ドライバフロッピー ・ネジ x4 (*4) ・SCSI ケーブル (*4) (*7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に個数の記載のないものは数量1。 ・データカートリッジは別手配。
適用機種	便覧またはシステム構成図参照	
適用 OS / ソフトウェア	バックアップ(装置・OS・ソフトウェア)適用一覧を参照	
推奨クリーニング周期	クリーニング要求 LED 点灯時、又は 3 ヶ月	
クリーニングカートリッジ寿命	50 回	

- (*1) PGBLT302C、PGBLT302C1は、SASケーブル付BTOオプション型名です。
- (*2) テープ装置における容量表現は、1GB = 1000 × 1000 × 1000 byteで換算しています。
- (*3) 転送速度は、1MB/秒=1000 × 1000 byte/秒で換算しています。
- (*4) カスタムメイドサービスの場合、サーバ本体に組み込まれています。
- (*5) 一般オプションのみ添付されています。
- (*6) PG-LT302、PGBLT302Cのみ添付されています。
- (*7) PGBLT302C、PGBLT302C1のみ添付されています。

(4) 留意事項

以下に本装置の運用、取扱いに関する留意事項を記載します。詳細は本装置のユーザーガイド、クイックスタートガイドおよびバックアップソフトウェア等、関連製品の説明書を参照してください。また、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」の留意事項も参照してください。

➤ 運用／構築時の注意

▪ 設置環境について

本製品にセットされた磁気テープ媒体は、データ記録面が装置内部で露出するため、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい傾向があります。一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお願い致します。

▪ ドライブのヘッドクリーニングについて

ー 定期的なクリーニング

装置の安定稼動のため、3ヶ月毎にクリーニングカートリッジUを利用して、クリーニングを実施してください。

ー 本装置がクリーニング要求状態になった場合

本装置は、突発的にヘッドにゴミが付着した場合や傷んだカートリッジを使用した場合にクリーニング要求 LED 表示状態となることがあります。この場合は、クリーニングカートリッジUを使ってドライブのヘッドクリーニングを行ってください。

▪ データカートリッジの定期交換

データカートリッジは消耗品です。消耗した媒体はテープ表面が傷つき、ヘッド汚れの増加、媒体エラー多発、等の不具合の原因となります。媒体の消耗によるバックアップ失敗を防止するため、使用期間で1年、1年以内でも使用回数で1000回を目安に交換してください。尚、媒体の寿命は、装置の設置環境(温度、湿度、塵埃等)や動作状況により大きく変化します。

▪ クリーニングカートリッジUの定期交換

クリーニングカートリッジUの寿命は50回です。

寿命の過ぎたクリーニングカートリッジUはクリーニング効果が無いため交換してください。

▪ バルクイレーサの使用禁止

データカートリッジには予めサーボ情報が書き込まれているため、バルクイレーサ(磁気イレーサ)での消去は行わないでください。

・ **SCSI 接続時の注意**

本ユニットは、サーバに 1 台のみ接続可能です。また、接続された SCSI バスに他の装置を接続しないでください。

➤ **バックアップ性能とバックアップ容量**

以下の要因により、バックアップ性能および 1 巻あたりに記録できるバックアップ容量が減少することがあるため注意してください。

- ・ サーバの負荷状況(データ転送速度が十分に得られない場合)
- ・ データの圧縮率
- ・ ご使用されるデータカセットの記録面の状態(消耗、汚れなど)
- ・ 本製品のヘッドの汚れ状態

(5) サプライ品

本製品には、次の富士通純正品を使用されることをお勧めします。

品名	商品番号	出荷単位	仕様	
			記録容量(*)	記録フォーマット
Ultrium2 データカートリッジ	0160310	1 巻	200GB	Ultrium2
Ultrium3 データカートリッジ	0160320	1 巻	400GB	Ultrium3
Ultrium1 クリーニングカートリッジ U	0160280	1 巻	—	

(*) 記録容量は、非圧縮時の記録容量を表してします。(1000 x 1000 x 1000 byte 換算)

問い合わせ窓口:

富士通コワーコ株式会社 <http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

富士通コワーコお客様総合センター 0120-505-279

月～金 9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始除く)

(6) 接続条件

➤ サーバ内蔵ベイ接続

サーバ1台に対して、本装置は1台のみ接続可です。(複数台の接続は未サポート)

サーバ	対応型名	接続ケーブル
TX200 S2 TX200FT S2 TX200W S2	On Board SCSI (注 1) PG-128	PG-CBLS023 を別途手配
RX600 S2	PG-128	PG-CBLS024 を別途手配
TX600	On Board SCSI	サーバ添付
TX150 S4 TX150FT S4 TX150W S4	PG-128	PG-CBLS023 を別途手配
TX200 S3 TX200FT S3	PG-1281	PGBLT302C はケーブル付。 PG-CBLS025 を別途手配
TX150 S5 TX150FT S5 TX150W S5	PG-1281	PG-CBLS027 を別途手配
RX600 S3	PG-1281	PG-CBLS026 を別途手配
RX600 S3(SAS モデル)	PG-1281	PG-CBLS029 を別途手配(※DC ケーブル付)
RX600 S4	PG-2281	PG-CBLS031 を別途手配
TX150 S6	PG-2281	PG-CBLS027 を別途手配
TX300 S4 TX300FT S4 TX300HA S4 TX300 S5	PG-2281	PGBLT302C は、ケーブル付。 PG-LT302 の場合は、PG-CBLS025 を別途手配
TX200 S5	PG-2281	PGBLT302C1 は、ケーブル付。 PG-LT302 の場合は、PG-CBLS027 を別途手配

※ 注 1: PG-140D1 使用時は、On Board SCSI への接続は行わないでください。

※ 本ユニットはサーバに 1 台のみ接続可能です。同一 SCSI バスに他の装置を接続しないでください。

※ PG-128、PG-1281 を使用する場合、LVD/SE のコネクタに接続してください。

➤ PRIMERGY SX10 / PRIMERGY SX10 S2(バックアップキャビネット)接続

【注意事項】 (SX10 に接続する場合)

LTO3 ユニット: PG-LT302/PGBLT302/PGBLT302C/PGBLT302C1 は、同一バスに他の装置を接続できません。

したがって、他の装置と同時搭載する場合や、複数台搭載する場合には、それに合わせて増設ケーブル(PG-CBLS022/PGBLCS022)を必要な本数だけ、同時に手配する必要があります。

(例: 4 台搭載時には、増設ケーブルを 3 本同時手配してください。)

なお、各サーバとの接続はバックアップキャビネット PRIMERGY SX10/SX10 S2 の記事をご参照ください。